**エムケイ第一病院の情報戦略**

「21世紀型よい病院悪い病院」の総合病院ランキングで第3位となったエムケイ第一病院。同院の平均在院日数、紹介率、スタッフ充実度、情報公開度などが認められてのランキング入りとなりました。エムケイ第一病院では電子カルテシステムの導入が進められており、そのインフラとなるネットワークが完成。コアルータにはNN01を2台、エッジルータのNN03（14台）/NN04（24台）を採用した冗長構成となっています。ミッションクリティカルな医療業務に対応する高信頼性のネットワークを実現しました。

**■構築の背景**

**●医療ビッグバンへの対応**

医療業界にはかつてないほどの変革の嵐が吹き荒れています。患者負担金の増加、保険点数の引下げ、薬価引下げ、院外薬局へのシフト……。国民医療費の収支バランスが崩れ、財源が破綻寸前となり、各種規制の撤廃と自由化が激しい勢いで進められています。それが、医療ビッグバンです。年々拡大を続け、不況知らずだった病院にも大胆な改革が迫られています。

「今まで病院経営はぬるま湯の中にいました。一般の企業では不況だリストラだといわれる中、順調に成長し倒産も競争もありませんでした。これからは病院も共有優位をめざして自立しなければいけないということです」と、エムケイ第一病院語ります。

医療ビッグバンが進む中、多くの病院が経営建て直しに暗中模索を続けています。そんな中、エムケイ第一病院では平成7年に病院を移転。巨額の移転費用を突きつけられ、思いきった変革を余儀なくされました。ときを同じくして院長と事務長も代わり、病院経営に本格的なメスが入ることになりました。

**●第1次3ヶ年ビジョンと改善計画**

「建物や設備というハードは最高レベルのものができました。次はソフトというわけです。最初に行ったのは短期経営改善計画ともいえる第1次3ヶ年ビジョンです。これに基づいて、医師、看護婦、薬局、事務などすべての職員の問題点を洗い出しました」（同鈴木氏）。

3ヶ年ビジョンは「病院経営の基礎固め」「医療機能の更なる展開」「働きがいのある職場環境づくり」「患者さんサービスの向上」からなり、これをベースに問題点を抽出し、同時に、その改善計画も職員に提出させました。

エムケイ第一病院を特徴づけている医療設備のひとつにガンマナイフがありますが、これは3ヶ年ビジョンの中の「医療機能の更なる展開」から提案されたものです。ガンマナイフは開頭せずに手術が行える先端機器で、これがエムケイ第一病院の脳外科手術を国内トップレベルに押し上げています。